地カフェ

大河内健詞

男　　完全に道に迷ってもうたわー
女　　薄気味悪い路地。もう私歩き疲れたわ。
男　　そうやな、どっか店入ろ。
女　　ねえ、ここに店があるよ。
男　　「地カフェ」？　地元の食材にこだわった店かな？
女　　ここでいいよ。入ろ。
男　　そやな。（カランコロンカラーン）

地蜘蛛の動きで店員が現れる

店員　いらっしゃいませー
男女　ギャー！
男　　な、なんだあんたは！？
店員　わたしはこの店のマスター。人呼んで「地蜘蛛」です。
女　　地蜘蛛・・・なんて気味の悪い名前！
男　　人なんですよね。
店員　私はこの店のマスター、地蜘蛛です。
男　　だめだ要領得んわ。
店員　では、そちらの席どうぞ。
男　　え、どこですか。
店員　ここですよ、ほら、ここ。
男　　椅子とかテーブル無いんですか。
店員　うちは地面カフェなんです。略して地カフェ。椅子もテーブルもありません。
男女　えー
店員　メニュー置いときますね。
男　　え、地面に？
店員　何か？
男　　不潔じゃないですか地面においたら。
店員　シャー（仲間を呼ぶ仕草）
男　　やめてやめて仲間呼ばないで！　いや、いいと思いますよ。
店員　おすすめは地コーヒーです。
男　　じゃあ地コーヒーにします。
女　　私も。
店員　地コーヒー二つですね。メニューは地に還るまでそのままにしてくださいね。
男　　気の長い話だな。やばいとこ来ちゃったね。
女　　地蜘蛛、昔どこかで会った気がする。

男　　そんなわけないだろ。
店員　はい！　地コーヒーです！（腹の上に置いて持ってくる）
男　　落ちる、落ちる！
店員　じゃあこの辺の地面に撒きますね。
男　　なんでだよ。置いておけよ。
店員　じゃあ置きますね。地砂糖と地ミルクは
男　　砂糖とミルクね。お願いします。
店員　じゃあ地に撒きますね。
男　　だめだよ。何で地に還そうとするんだよ。
店員　承知しました。ごゆっくりどうぞ。
男　　ごゆっくりって・・・落ち着けないよこれじゃ。ずっと（カップ）持ってないといけないし。
女　　地面に置いたまま飲めばいいんじゃない？
男　　え、ちょっと無理しないでよ。
女　　痛！　腰が！・・・
男　　ほらいわんこっちゃない。
女　　いたた・・・ちょっと横になるわ。（地蜘蛛になる）
男　　うわ、地蜘蛛が感染した！？どうしちゃったの？
店員　地アイスクリームです！
男　　え、地アイスクリーム？　ああ地面に還さないで！　でもこれ頼んでないよ。
店員　ご機嫌取りです。
男　　正直だな。だけどアイス溶けて手がべとべとだよ。
店員　地おしぼりありますよ。
男　　両手塞がってんだけど。
店員　シャー
男　　うわ！　仲間呼ばないで！
女　　シャー
男　　お前は真似するな！
店員　（頭におしぼりを置く）
男　　そっと置いてくれたよ。
店員　お前、友達。
男　　いやいやいや。
女　　私座りたい！
男　　だよね。疲れるよそれ。
店員　椅子とテーブル、お持ちしましょうか？
男　　え、あるんですか？
店員　ええ、ただしこれから持ってこようとするテーブルは、
（平将門とか昔の武将の生首が置いてあったようなことを説明しようとするが異常に下手）
男　　説明下手だな！　もういい！　お会計します！

店員　　コーヒー二つで 200 円になります。
男　　安！
店員　　設備の減価償却費がかかりませんからね
男　　そこはまっとうな理由だな。はい、200 円。
店員　　ありがとうございましたー
男　　よし、帰ろう！
女　　地蜘蛛さん！　また会えるかな？
男　　会わなくていいよ。
店員　　お客様待ってください！
女　　地蜘蛛さん！
男　　なんですか！
店員　　おしぼり返してください（普通に歩いてくる）
男　　普通に歩けんのかよ！